

足立区のお知らせ

47.10.10 世論調査特集 No.274

足立区

足立区千住一丁目50
☎ 882-1111(代)
編集・発行/足立区役所

区政に関する世論調査結果まとまる

問題点のトップは交通機関

当区では、初めての「足立区政に関する世論調査」を去る五月実施しました。この調査の目的は足立区民の生活環境の諸条件や実態とそれに対する意識、街づくりについての考え方、意見などを的確に把握し、これらの相互関連のなかから、足

立区長期基本計画に基づく実施計画作成の際の事業の優先順位やウェイト付けをするための基礎資料とすることです。

〈調査項目〉は、生活環境・住宅事情・公共施設・区政一般など別表1の6領域・33項目です。

調査方法

調査にあたっては、長期基本計画の13ブロックごとに、住宅地区・商業地区・工業地区などの地域の特性に応じて、56地区を抽出しました。その地区に住む年齢満20歳以上の男女3360名に調査用紙を渡し、1週間後に受取りに行く方法で実施し2833人の回答がありました。(回答率84.3%)

生活環境について

まず生活環境では、「現在生活していくうえで困ること」について、上下水道・ガス・公害など14項目の中で困っていること、不便なことなどをいくつかあげてよい形式で回答してもらいました。

結果は、第一が「交通機関」37.2% (16.0%)で、以下「公園緑地」33.8% (27.0%)「下水道」33.5% (30.3%)「保育」24.8% (29.2%)「河川のよこれ」20.4% (12.7%)の順となり、()内に示した都全体の傾向に比べ、当区の交通機関の悪さを示しています。(別表2)

公害、騒音、大気汚染

自動車や工場の騒音に困っているものが46.9%と半数弱を占め、この面からも生活環境の悪化を示しています。なかでも「いつも困る」が13.5%もあり「ときどき困る」33.4%となっています。

排気ガスや工場のばい煙による空気の汚れにつ

いては、「1.非常にめいわくしている」「2.それほどでもない」「3.汚れていない」のうち2の項目を上げた人が過半数の59.2%を占めています。

「悪臭について」は「ある」が約過半数の50.8%で、「1.とくにひどい」が4.6%、「2.ときどき感じる」が46.2%となっており、全体的に公害が悪化していると思われます。

下水道の受益者負担について

下水道整備について、費用の一部を受益者負担にすることについては、「1.やむを得ない」とするものが、トップの42.6%もあり、下水道整備の要望の強さを示しています。

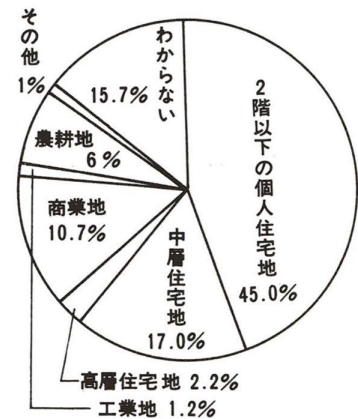
生活環境全般について

次に、「足立区は一般的にみて生活環境が良いといえるか」という問に対しては、「良い」27.9%「悪い」24.3%「どちらともいえない」47.8%で、「どちらともいえない」を除くと良いの方がやや多くなっています。

地域の将来イメージ

また、「将来どんな地域にしたいか」という問には、64.2%が住宅地域と答えており、その内容も「2階以下の個人住宅地」が45.0%と最も多く「中層住宅地」が17.0%「高層住宅地」は2.2%と非常に少なくなっています。一方、「商業地」も10.7%とかなり高くなっていますが、「農耕地」を極力残す地域も7.1%あって、環境保全への指向もみられました。

地域の将来イメージ



住宅事情について

持家か借家か

全体では「持家」が40.9%とトップで、次いで「都営住宅」22.1%、「借家」13.4%、「民間アパート」10.0%となっています。

住居の広さ

住居の広さでは、「23.2～33.0㎡ (10坪)」がトップで22.4%、次いで「33.1㎡～49.5㎡ (15坪)」の17.3%となっており、家族数(平均3～4人)に対して非常に狭く、住宅事情の悪さを反映しています。

現在の住居の広さで十分か

現在の住居の広さは十分かどうかの設問に対しては、57.1%の過半数以上が狭いとしています。現在の広さで十分であるというのは18.1%しかなく、まあまあというのが23.4%となっています。

狭いとすればどれ位の広さを希望するか

一番多いのは50～66.0㎡ (20坪)で23.6%と約半を占め、次いで33.1～49.5㎡ (15坪)の23.5%とこの間で約半数を示しています。家族数から考えても、49.5㎡ (15坪)前後の希望は決してぜいたくな要求とはいえず、庶民のささやかなスートホーム像といえます。

別表1

1. 生活環境について

- 環境に対する問題点
- 裏通りの整備
- 公害(騒音・大気汚染・悪臭)
- 環境改善方法
- 下水道整備の受益者負担
- 地域の将来イメージ
- 購買行動
- 健康診断

2. 住宅事情について

- 住宅形態・構造
- 居住面積と希望面積

3. 人口移動・流動について

- 居住年数と以前の居住地
- 居住動機
- 今後の居住の可能性と理由

4. 公共施設について

- 利用施設
- 図書館などのあり方
- 公園のあり方

● 福祉施設のあり方

- 教育文化施設の整備
- 土木関係施設の整備
- 出張所の利用度とあり方
- 区民センターの施設整備

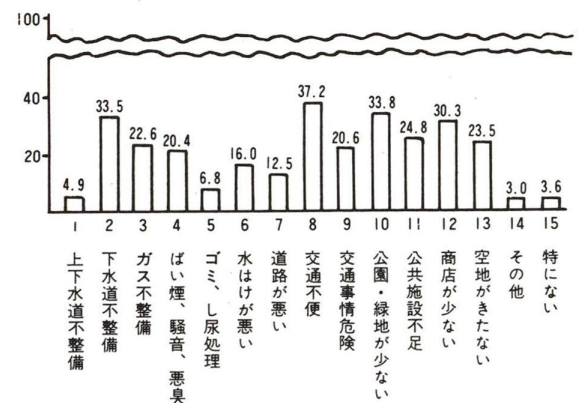
5. 区政一般について

- 財政への関心度
- 長期基本計画の知名度
- 計画の重要度
- 再開発について
- 避難について

6. 区政認識について

- 区の行政
- 区長名の知名度
- 区長の選出方法
- 区行事の知名経路
- 区のお知らせ到達率と購読紙度
- 区のお知らせの閲覧率と関心度
- 区政に対する要望の解決方法

別表2 ここにお住いになって困ることは



これからの区発展のために — 望まれる下水道対策 —

区の重点施策

これからの区発展のために、最も力を入れてほしい施策を14の項目から二つ選んでもらいました。結果は、トップが「下水道整備」で31.3%、次いで「公害防止」21.8%、「通学路・ガードレールの設置」21.0%、「老人施設の充実」18.8%、「道路・河川の整備」18.6%、「公園・児童遊園の整備」16.7%、「開発や再開発による整備」12.3%の順となっています。(別表3)

公共施設

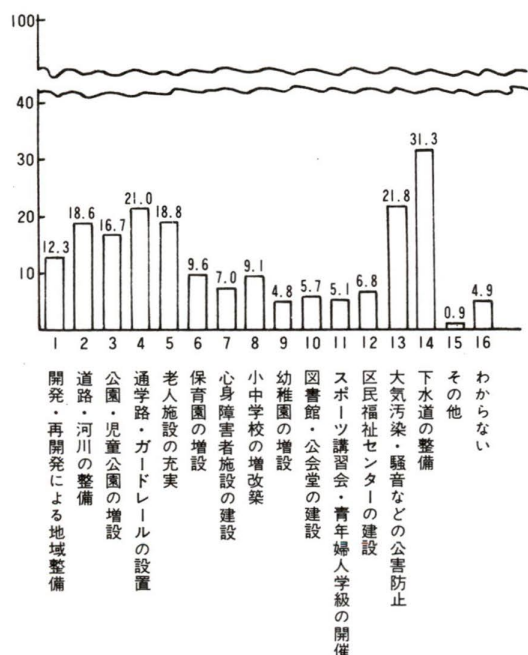
□施設の利用率

区の施設の利用率についてみると、「図書館」がトップの13.0%、「文化会館」の11.5%、「区民福祉センター」の10.0%の順となっています。しかし、「全ての施設を全利用したことのない」人が63.4%もあり、区の施設のP・Rと今後の活用が望まれます。

□どんな公園を作るべきか

最も多いのが「森林公園」の31.4%で、都会人が緑のオアシスを求めているのが単的に表現されています。次いで「散歩や簡単なレクリエーションのできる中規模な公園」の27.0%、「運動場、プールなどのあるスポーツ公園」16.7%、「児童公園」13.1%となっています。「交通公園」は1.7%と最低ですが、イメージが良くつかめないことと、緑の公園がまず整備され、その次に望まれるものと思われる。

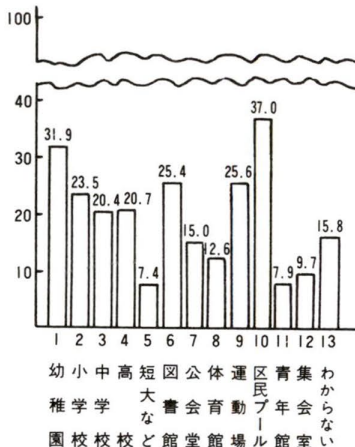
別表3 望まれる重点施策



□心身障害者福祉施設について

心身障害者福祉施設のあり方について、「1.区内に1〜2か所はぜひ必要である」「2.都内に数か所あればよい」「3.わからない」の設問に対しては、全体の約72.9%が「1」の区内に1〜2か所必要と感じています。

別表4 整備を望む教育文化施設



□教育文化施設の整備

全体で最も高いのは「区民ホール」で37.0%、次いで「幼稚園」の31.9%、「運動場」の25.6%、「図書館」の25.4%となっています。学校施設は「短大など」を除いて、全部20%以上の希望です。また運動施設を合わせると75.2%とかなり高くなっています。(別表4)

□土木関係施設の整備

土木関係施設では、「道路」以下10項目で質問したところ、「街路灯」がトップの43.7%で、次いで「公園」41.3%、「道路」40.2%、「歩道」39.9%の順となっています。

□福祉関係施設の整備

福祉関係施設で整備してほしいものを3つあげてもらった結果では、トップが区民福祉センターの51.3%と区の特長を反映しています。次いで保育園48.4%老人館の48.3%となっており、幼児問題、老人問題に対する期待が高くなっています。

□区民福祉センター

区民福祉センターの施設として最も希望の多いのは児童館の43.7%、次いで老人館の43.0%、図書館の25.6%、青年館16.1%などの順で、大体前の質問結果と同じ傾向です。

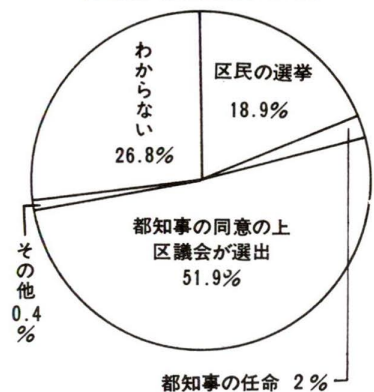
区政に対する関心は？

「区政に関する認識について」は、まず財政への関心度を調べましたが、「関心がない」というものが58.2%と半数以上ありました。また、区の仕事はどの程度まで知られているか、都の仕事もまぜた7項目で質問したところ「公立小中学校の建設」41.2%「公立保育園、幼稚園の建設」40.3%とかなり、正しく認識されています。しかし、3、4、5位は「ごみ・し尿処理」「下水道の建設」「乳幼児の予防接種」と、おのおの30%前後が都の仕事と誤認しています。また「公衆便所の設置」「公共溝渠の維持管理」はそれぞれ22.7%、20.2%の人が区の仕事であることを知っていました。

一方、区長の名前は「知っている」55.8%、「忘れた」15.8%で昭和43年23区平均の36.5%、同45年練馬区13.9%に比べ、相当高い数字を示しています。

また、区長の選任制度については、「正答」(都知事の同意を得て区議会で選任する)が51.9%で過半数を占めていますが、一方「わからない」人が26.8%、「選挙する」と答えた人も18.9%と多くなっています。

区長の決め方について



区の仕事・行事は何で知るか

区の仕事・行事については「区のお知らせ」が73.5%で、新聞、掲示板、チラシ、パンフレットのいずれも10%台に比べ圧倒的な数字を示しています。

また、区のお知らせは「毎月必ず届いている」が66.9%、「ときどき届く」が23.8%となっており、一応現在の配布方法で90%は確保されていると考えられます。次に、「必要な記事だけ読む人」が49.4%、「くわしく読む人」が24.6%、「見出しだけを読む人」が15.6%で、「全然読まない人」は10.3%となっています。また関心のある記事については「家庭欄」44.1%、「事業計画」38.2%、「窓口案内」21.7%、「財政報告」20.8%の順となっています。

◇なお、世論調査の報告書は、区役所広報課、各出張所、図書館に備えてありますので、くわしくは資料をごらんください。

最後にこの調査にご協力くださった方々に、この紙面をかりて厚くお礼申し上げます。今後とも区政へのご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。